

科目名 Subject	美容デザイン実習Ⅵ Practice of Beauty DesignⅥ			教員名	ヘアチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	3単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	90時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○		◎	○		
科目の概要	1) 国家試験課題:美容師試験の合格に主眼を置き、試験課題であるオールウェーブセッティング(以下「AW」と記す)およびワインディング(以下「WD」と記す)においてスキルアップを図りながら美容に関する知識・技能を習得する。また教員からのフィードバック(以下「FB」と記す)のみならず、自己の作品や技術をセルフチェックすることにより、改善すべき課題を見出し技術力向上を目指す。その手段の一つとして、ペアで動画撮影した映像をもとに施術中の行動をセルフチェックする方法を用いる。さらに学生が互いにFBし合う機会も設け、より多くの気づきが得られる授業を展開する。2) アップスタイリング:1年時に学んだ基本理論・基本技術を活かし、アップスタイルパターンを学びながら、独自の感性を活かしデザインを考え、表現(作品化)していく力を身に付ける。その過程において様々な顧客のニーズに応えられるような応用力の習得を目指す。3) その他応用技術:サロンワークにおける基礎をより深く身に付け、ヘアスタイリストとして必要な応用サロンワーク(カットティング、特殊系ヘア、パーマ)の技術を学ぶ。また、様々な髪質や毛量に対応できる技術力とアプローチ力を身に付ける。 なお、本授業の一部(国家試験課題以外)は、サロン現場で行われている実践的技術を学び知見を深めるため、ゲストスピーカーを招聘し、オムニバス方式で行う。					
授業方法	授業は対面で行う。 ただし、状況次第でZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	1) 国家試験課題: 自己の技術および作品に対する課題を発見し改善に取り組みながら、技術力を向上させることができる。併せて、社会人として必要なルールやマナーを身につけ、周囲の動きにも目を配りながら適切な行動ができるようになる。 2) アップスタイリング: ①基礎技術をさらに向上させ、応用技術ができるようになる。 ②独自の発想力を活かし、クオリティーの高い作品を作成することができる。 ③様々な年代や骨格に合ったヘアスタイルを提案しデザインすることができるようになる。 3) その他の応用技術: サロンワークの技術を学び応用できるようになる。流行に即したスタイルを創作する感性を習得し、リーダーとして美容界に貢献する人材になることができる。また、老若男女を問わず対応できる応用力を身につけ、技術を実践できるようになる。					
時間外学習 (予習・復習)	自己の課題とする部分を重点的に練習しながら完成度の向上を図る。 また、学習内容をノートに記録し、次の目標を掲げる。 なお、各回の自己学習は60分以上実施し、技術力の向上や定着を図る。					
教科書・教材	教科書	『美容技術理論1.2』日本理容美容教育センター編(2023)、配布資料				
	教材	消耗品(ペーパー、ローション等)、ヘアアクセサリ、スマートフォン				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	なし				
評価方法	授業態度10%、提出物(技術課題)10%、期末試験80%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	美容技術を学ぶにあたり、遅刻、欠席はスキルアップに支障が出る為、原則認めません。また、そのために再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為があった場合は、欠席と同等の扱いとします。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション 国家試験課題WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは40分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上 に向け反復練習を行う(90分以上)
第 2 回	アップスタイリング(1) 基礎理論を復習する	基礎理論を完璧に理解し説明できる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習 する(60分程度)
第 3 回	アップスタイリング(2) 基礎的技術であるピンング・逆毛等 を実践する	ピンング・逆毛等の基礎的技術を完 璧に実践できる	反復練習を行い、基礎技術のレベルをさ らに向上させる((60～90分)
第 4 回	国家試験課題;WDおよびAWの実践 WDでは、ペアで互いに作業中の技術 を動画撮影し、セルフチェック後、 FBし合う	自ら課題を発見し説明することがで きる。さらに、他者の作品や技術に 対する評価も行い説明することがで きる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上 に向け反復練習を行う(90分以上)
第 5 回	アップスタイリング(3) ハーフアップ技術を学ぶ	数種類のハーフアップを実践できる	反復練習を行い、ハーフアップの技術レ ベルを上げる(60～90分)
第 6 回	アップスタイリング(4) ブレイド技術、編み下ろしアップを 学ぶ	様々なブレイド技術を用いて編み下 ろしアップを行うことができる	反復練習を行い、編み下ろしの技術のレ ベルを上げる((60～90分)
第 7 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは35分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上 に向け反復練習を行う(90分以上)
第 8 回	アップスタイリング(5) ネーブシニヨン技術を学ぶ	様々なネーブシニヨンを作ることが できる	反復練習を行い、ネーブシニヨン技術の レベルを上げる((60～90分)
第 9 回	アップスタイリング(6) 夜会巻き技術を学ぶ	夜会巻きが実践できるようになる	反復練習を行い、夜会巻き技術のレベル を上げる((60～90分)
第 1 0 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは35分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上 に向け反復練習を行う(90分以上)
第 1 1 回	アップスタイリング(7) ボンパドール技術を学ぶ	ボンパドールが実践できる	反復練習を行い、ボンパドール技術のレ ベルを上げる((60～90分)
第 1 2 回	アップスタイリング(8) ワンロール(平行止め)技術を学ぶ	ワンロールが実践できる	反復練習を行い、ワンロール技術のレベ ルを上げる((60～90分)
第 1 3 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは30分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上 に向け反復練習を行う(90分以上)
第 1 4 回	アップスタイリング(9) 作品のレベルチェックを受ける	夜会巻き、ボンパドール、ワンロー ルのうち、いずれかの課題を50分以 内に完成させることができる	チェックに向けてこれまでの技術を再確 認し、練習する(60～90分)
第 1 5 回	アップスタイリング(10) 新日本髪の技術を学ぶ	新日本髪の作成方法を理解し、実践 することができる	バランスのとれた新日本髪を結えるよう 反復練習を行う(60～90分)

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	アップスタイリング(11) 新日本髪を実践し技術チェックを受ける	新日本髪のバランスに注意し、完成させることができる	バランスのとれた新日本髪を結えるよう反復練習を行う(60～90分)
第17回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは30分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第18回	アップスタイリング(12) 自由スタイルを考案し制作する	自由スタイルを考案し、ウィッグで表現することができる	自由制作に向け、様々なスタイルについて調査し作成を試みる(100分程度)
第19回	アップスタイリング(13) 作品を自由創作する	ヘアアクセサリを含め、全体の調和がとれた作品を完成させることができる	考案した自由スタイルがバランスよく制作できるよう練習を行う(100分程度)
第20回	アップスタイリング(14) 自由創作した作品のチェックを受け、プレゼンテーションする	自由創作した作品に対し、他者が理解できる内容でプレゼンテーションすることができる	他者の作品から得たヒントを活かし、新しい自由スタイルを制作してみる(100分程度)
第21回	国家試験課題;WDおよびAWの実践 WDでは、ペアで互いに作業中の技術を動画撮影し、セルフチェック後、FBし合う	自ら課題を発見し説明することができる。さらに、他者の作品や技術に対する評価も行い説明することができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第22回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第23回	ブロー技術理論 髪の熱伝導理論、ブローの現状を学ぶ	毛髪理論を理解し、説明することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第24回	ブロー技術 髪の熱伝導理論を踏まえたブロー技術を学ぶ	ブロー技術を習得し実践することができる	反復練習を行い、ブロー技術のレベルを上げる((60分程度)
第25回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第26回	テクスチャーライジングと毛髪交差について学ぶ ゲストスピーカー小笠原幸俊氏を招聘	質感調節の技術を理解し、説明することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第27回	リセッターおよびシェープカット技術について学ぶ ゲストスピーカー小笠原幸俊氏を招聘	質感調節の技術を実践し、シルエットの違いを比較することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第28回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第29回	刈り上げ技術(1) バリカンと鋏による技法を学ぶ ゲストスピーカー安嶋美晴・村井玄徳氏を招聘	バリカン、鋏の刈り上げ技法を学び実践することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第30回	刈り上げ技術(2) バリカンと鋏による技法の違いについて学ぶ ゲストスピーカー安嶋美晴・村井玄徳氏を招聘	バリカンと鋏での作業効率や質感の違いを比較することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 3 1 回	レベルチェック (国家試験課題：WDおよびAW)	WDを20分以内、AWを25分以内に仕上げ、自己の改善点を見出し、次の目標を立てることができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第 3 2 回	コーンロー技術(1) 編み込み理論を復習し、コーンローについて学ぶ ゲストスピーカー大友譲二・大友みちこ氏を招聘	コーンローの方法を学び、技術を実践することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 3 3 回	コーンロー技術(2) コーンローの技法を学び実践する ゲストスピーカー大友譲二・大友みちこ氏を招聘	サロン現場で活かせるようなデザイン性のあるスタイルを作成することができる	反復練習を行い、コーンロー技術のレベルを上げる((60分程度)
第 3 4 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第 3 5 回	パーマメントウェーブの実際を化学的に学ぶ(1) 毛髪の等電点について	毛髪の等電点について理解し、説明することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 3 6 回	パーマメントウェーブの実際を化学的に学ぶ(2) サロン現場での活用を見据えて	サロン現場で薬剤を使用する際に知識を活かすことができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 3 7 回	国家試験課題:WDおよびAWの実践 WDでは、ペアで互いに作業中の技術を動画撮影し、セルフチェック後、FBし合う	自ら課題を発見し説明することができる。さらに、他者の作品や技術に対する評価も行い説明することができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第 3 8 回	ヘアカラーリング(1) 基礎理論から応用技術を学ぶ ゲストスピーカー駒場雅彦・堀口俊洋氏を招聘	ヘアカラーリング理論およびテクニックを学び、説明できるようになる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 3 9 回	ヘアカラーリング(2) カラーリングテクニック(ホイールワーク)を学ぶ ゲストスピーカー駒場雅彦・堀口俊洋氏を招聘	サロンワークに活かせるテクニックを習得し実践できるようになる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 4 0 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第 4 1 回	縮毛矯正(1) 縮毛矯正の現状について学ぶ ゲストスピーカー中野製薬株式会社インストラクター3名招聘	縮毛矯正の現状について知り、説明できる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 4 2 回	縮毛矯正(2) 縮毛矯正技術の流れを学ぶ ゲストスピーカー中野製薬株式会社インストラクター3名招聘	縮毛矯正理論を理解し、施術の流れや施術する上での注意点を説明することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 4 3 回	国家試験課題 WDおよびAWを実践する	自己の作品の改善点に注意し、WDは20分以内、AWは25分以内に仕上げる ことができる	改善すべき課題を自ら発見し、技術向上に向け反復練習を行う(60分以上)
第 4 4 回	ヘアマッサージ技術(1) 技術のコツ、練習方法について学ぶ ゲストスピーカー二宮由樹子氏を招聘	ヘアマッサージのコツや練習方法を理解し、説明することができる	学習した内容を、図と文章にまとめ復習する(60分程度)
第 4 5 回	ヘアマッサージ技術(2) 技術を実践する ゲストスピーカー二宮由樹子氏を招聘	個々人に合った速さや力加減で、適切なマッサージ技術を施すことができる	複数の人体をモデルとし、マッサージ技術を練習する(60分程度)